

環境基本計画基本目標			安全で安全に暮らせるまち						
環 境 保 全 項 目			さわやかな空気と静けさを確保する						
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課

環境基本計画基本目標			安全で安全に暮らせるまち						
環 境 保 全 項 目			きれいな水と安全な土壌を確保する						
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
1-2		合併処理浄化槽設置整備事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進する。	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での設置2基	○	上半期補助申請 1件（目標の25%）	丸子市民生活課
1-2		排水設備の普及促進	きれいな水と安全な土壌を確保する	下水道の早期接続	・下水道の早期接続の戸別訪問 ・郵送による普及促進活動	・新規接続戸数 60戸 ・水洗化率 90.3%	○	新規接続件数は、公共198件、農集2件合計200件接続ができた。 水洗化率88.10%となった。	丸子上下水道課
1-2		漏水調査	水資源の有効活用	有収率の向上	漏水調査 地区別漏水の委託調査 重点地区の漏水調査	本年度有収率70%台へ上げる	○	漏水調査で発見した漏水箇所を随時修理した結果69.90%の有収率となった。	丸子上下水道課
1-2		上水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業	きれいな水と環境保全を確保	上水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業を推進する	○処理場の整備 ①菅平浄化センター改築更新 ②農集処理場の維持管理	○処理場の整備 ①菅平浄化センター調整槽設備、沈砂池設備更新工事	◎	菅平浄化センター工事について、H24分工事について12月19日に完成。	真田上下水道課
1-2		老朽管布設替	水資源の有効活用	有収率の向上	老朽管布設替	推定漏水量	◎		真田上下水道課
1-2		合併処理浄化槽設置整備事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進する	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での新設1基	◎	補助金交付件数 下半期0件（年度末2件）	武石市民生活課
1-2		河川水質調査及び検査	きれいな水の確保	定期的な調査により、河川水質の環境基準の達成について監視する	市内河川の調査地点について、河川の状況を把握するため水質調査を実施する。 余里自治会からの要望による河川水質調査の実施	市内4地点で実施 指定箇所1地点で実施	◎	・武石地区旧廃棄物処分場（毎月実施：検査結果は基準値内である）年間12回実施し検査結果は全て基準地内であった。 ・余里地区水質検査（10月2日実施：検査結果は基準地内である）	武石市民生活課

環境基本計画基本目標			安全で安全に暮らせるまち						
環 境 保 全 項 目			きれいな水と安全な土壌を確保する						
環境基本計画	№	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
1-2		排水設備の普及促進	水質の保全	下水道の早期接続	未接続者全戸へ電話での早期接続案内の実施 パンフレットの送付	未接続への電話度に集計	△	聞き取り調査が全員にできなかった。	武石上下水道課
1-2		有収率の向上	安定安全な水の供給	漏水調査、管の破裂等修繕の迅速な対応	中央第1・第4配水池系地区全戸の音調調査		○	中央第4配水池系地区全戸の音調調査を実施し、10.1L/分の漏水を発見し修理した。	武石上下水道課

環境基本計画基本目標			自然・いきもの・人が共生するまち						
環 境 保 全 項 目			水辺環境を守り・親しむ						
環境基本計画	№	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
2-2		① 多自然型水路整備	1 自然・生き物・人が共生するまち	① 農業用用水路において、環境に配慮した工法を推進します。	① 多自然型水路を1ヶ所整備する。	① 実績数値による。	◎	・塩川地区南方自治会において山腹水路を自然型水路にて施工した。 事業量 L=13.0m事業内容丸太柵3～4段 8m 土嚢水路5m	丸子産業観光課
2-2		天然素材利用農道・水路整備	環境に配慮した農道・水路の整備	農道、農業用用水路において、環境に配慮した天然素材を利用する工法を推進します。	天然素材を利用した農道・水路を整備する。	農道・水路整備における天然素材を利用を5箇所以上採用する。	○	横沢地区災害復旧工事にて丸太柵工、自然石を用いたフトン籠工を3箇所施工し、農地保全対策事業花水地区、市単土地改良事業大畑地区において自然石積工を採用し、計5箇所の整備を行った。	真田産業観光課
2-2		① 多自然型水路整備	1 自然の保全・活用	① 農業用用水路において、環境に配慮した工法を推進します。	① 多自然型水路を一箇所整備する。	① 多自然型水路を一箇所整備する。		現在、要望ない為、事業予定なし	武石産業観光課

環境基本計画基本目標			自然・いきもの・人が共生するまち						
環 境 保 全 項 目			農環境を守り・親しむ						
環境基本計画	№	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
2-3		担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。 (数値目標 平成24年度 12ha)	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 22年度末 142.9ha →24年度目標 12ha	△	年度ごと対象面積の変動が大きいことに加え、対象者の中に税金の未納者がおり交付対象外となったこと等により集積面積が伸び悩んだ。	真田産業観光課

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち						
環 境 保 全 項 目			循環型社会の形成に努める						
環境基本計画	№	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
3-1		丸子地域消費生活展の開催	循環型社会の形成に努める。環境にやさしい地域をはぐくむ。	各種団体と協力して、廃棄物の減量と資源再利用の促進に努める。	丸子地域消費生活展の開催（委託） 11月25日（日）	来場者予定数 600人 アンケートによる来場者満足度90%以上	◎	8月27日 第1回実行委員会開催 9月5日 役員会開催 9月21日 第2回実行委員会開催 11月24日（土）開催予定	丸子市民生活課
3-1		ごみ減量化機器等購入費補助事業	循環型社会の形成に努める	ごみ減量化機器等に関する補助や情報提供を進める。	ごみ減量化機器等の購入に対する補助金交付	補助金交付件数 60件	△	補助金交付件数 47件（目標の78.3%）	丸子市民生活課
3-1		資源物回収用具収納施設設置費補助事業	循環型社会の形成に努める	資源物回収用具設置に関する補助や情報提供を進める。	資源物回収用具収納施設設置に対する自治会への補助金交付	補助金交付件数 1件	◎	補助金交付件数 1件（目標の100%）	丸子市民生活課
3-1		給食の調理	循環型社会の形成	①調理くずの削減、②残食量の削減、③汚泥発生の抑制	①調理くず発生量を減らす ②残食量を減らす ③適切な排水処理により汚泥発生を抑制する	①日常の取組 実施 ②残食量 3500kg ③汚泥発生量 0kg	○	ごみ処理については、対前年度より86.3%の減 残渣量については、対前年度より86.8%の増	丸子学校給食センター
3-1		ごみ減量、再資源化対策事業	廃棄物の減量と資源再利用の促進	廃棄物を減量及びリサイクルの推進	・生ごみ減量化機器等購入に対する補助金 ・資源物回収カレンダー全戸配布 ・河川への不法投棄防止啓発ビラの全戸配布		○	・補助金交付件数 下半期4件（年度末6件） ・カレンダー 12月配布 ・ビラの全戸配布は未実施	武石市民生活課

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち						
環 境 保 全 項 目			地球温暖化防止活動を推進する						
環境基本計画	№	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
3-2		グリーン購入の実施	地域資源を活かし地球にやさしいまちづくりを行う	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、グリーン購入率を高めます。	物品調達におけるグリーン購入の推進	物品調達におけるグリーン購入率を88%以上とする	○	・平成24年度のグリーン購入の推進状況 （年間グリーン購入率：78.9%） （前年度比14.63%増）グリーン購入調査による	丸子地域振興課
3-2		消費電力量の削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	庁舎の電力消費量削減	前年度実績の12%減(333,282kwh)	○	・エレベータ休日停止（H22より継続） ・不使用電源のスイッチ等を就業時切るように掲示板にて告知（10月・1月） ・平日夜間エレベータ停止を継続実施 ・H24下半期電気使用料 180,168kwh ・H24年度電気使用料 331,113kwh（H23全期比6,217kwh減、1.8%減）	丸子地域振興課
3-2		丸子地域自治センター関連施設の可燃ごみ削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	丸子地域自治センター関連27施設の可燃ごみ削減	前年度実績の0.5%減（29,163kg）	△	・H24下半期 16,400kg 平成24年度 31,170kg ・年度当初関連施設の可燃ごみの削減について、ゴミの分別を徹底（リサイクル雑古紙等で排出して可燃ごみを削減）を通知（H23年度比 1,860kg増、 16.75%増） （23年度より上田地域広域連合事務局の人員増11名ほか事業増のため可燃及び不燃ごみの増加）	丸子地域振興課
3-2		集中管理車のガソリン及び軽油の使用量の削減	二酸化炭素の排出を抑制し地球温暖化の防止	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、ガソリン及び軽油の使用量の削減を目指します。	集中管理車11台のガソリン及び軽油の使用量の削減	一昨年度実績の±0.0% ガソリン使用量3,150ℓ、軽油5,150ℓ	△	・平成24年度車両燃料使用量削減状況 （一昨年4月～3月の対前年比） ガソリン 2%減、 軽油 20%増 車両燃料調査による。 （中型バス及びマイクロバスの運行回数及び距離の増加が原因）	丸子地域振興課

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち						
環 境 保 全 項 目			地球温暖化防止活動を推進する						
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
3-2		防犯灯修繕（LED化）補助事業	地球温暖化防止活動を推進する	地域内の全防犯灯を平成23年度から5年計画でLED照明へ交換する。	申請に対する補助金の交付	防犯灯のLED照明への交換（460基/2,302基）			丸子市民生活課
3-2		新エネルギー活用施設（太陽光発電・太陽熱利用施設）施設補助事業	地球温暖化防止活動を推進する	新エネルギー・省エネルギーに関する補助や情報提供を進める。	新エネルギー活用施設（太陽光発電・太陽熱利用施設）に対する補助金交付	補助金交付件数 120件	○	補助金交付件数 117件（目標の97.5%）	丸子市民生活課
3-2		市民生活課所有車の燃料使用の抑制	市民生活課における地球温暖化防止活動の推進	地域資源を活かし地球にやさしいまちづくり	市民生活課が所有する全庁用車12台のガソリン、軽油使用量の削減（昨年度、住宅部門単独で設定した事業を、今年度から課全体に拡大）	・ガソリン(10台分) 使用量…昨年度から1%削減 上半期1,404ℓ 年度末2,699ℓ ・軽油車(2台分) 使用量…昨年度から1%削減 上半期979ℓ 年度末2,032ℓ	△	ガソリン使用量 2,702.18ℓ（目標の100.1%） 軽油使用量2,208.7ℓ（目標の108.7%）	丸子市民生活課
3-2		環境保全事業	地球温暖化防止活動を推進する	I SO14001などの事業者に対する環境マネジメントシステムに関して情報を提供し、事業者を支援する。	工業3団体へ説明会の開催 団体会員への「工振ニュース」で取得支援の情報を年2回提供する。併せてエコアクション21についても情報提供する。	参加者1回で30社40人	◎	1社9000シリーズを取得した。	丸子産業観光課
3-2		給食計画及び献立作成/物資の購入/給食の調理及び配送	循環型社会の形成／農環境を守り・親しむ／地球温暖化防止活動の推進	①地元食材の利用、②食品残渣の再生利用、③廃食油の再生利用、④バイオディーゼル燃料（BDF）の使用	①地元食材の利用を促進する ②食品残渣のたい肥化等再生利用を図る ③廃食油のBDF化を促進する ④配送車燃料にBDF使用を促進する	①地元食材使用割合 45% ②再生利用の取組 実施 ③廃食油BDF化率 10% ④BDF使用量 230ℓ	○	BDFによる使用料は年126ℓであるが、廃食油によるBDFの促進化をした。 地元食材の利用率については年45.1%で目標達成できた。	丸子学校給食センター
3-2		丸子文化会館施設管理運営事業	良好な環境と循環の仕組みに支えられたまち	各種事業時、車両乗り合わせによる参加の呼びかけを実施します。＜事業周知時における呼びかけ＞	・住民環境啓発		◎	自主文化事業においてチケットは完売（@約800席）したが、適切な乗り合わせの結果、当館の駐車場227台分のみで間に合わせる事が出来た。	丸子社会教育課
3-2		消費電力量の削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます	庁舎の電力消費量削減	平成19年度比6.0減(年1.2%×5年) 目標値429,137kwh	◎	・暖房の温度設定を管理し、運転時間の短縮に努めた。 ・最大電力量を抑えるため、電力の掛かるチラーの調整をおこなった。 ・深夜電力での稼動に努めた。 ・同程度の照度を保ちつつワット数を下げ節電に努めた。40W→30Wに、50本（下半期）かえた。 24年度 342,690kwh 19年度比24.9%減 40W→30Wへの交換数 65本	真田地域振興課

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち						
環 境 保 全 項 目			地球温暖化防止活動を推進する						
環境基本計画	№	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
3-2		共有管理車のガソリン及び軽油の使用量の削減	二酸化炭素の排出を抑制し地球温暖化の防止	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	共有管理車10台のガソリン及び軽油の使用量の削減	平成19年度比6.0減(年1.2%×5年) 目標値ガソリン・軽油計で6,707ℓ以下	◎	長距離時のハイブリット車使用を優先し、エコドライブの呼びかけに努めた。 19年度ガソリン 768ℓ、軽油2,258ℓ、計3,026ℓ 23年度ガソリン1,133ℓ、軽油1,880ℓ、計3,012ℓ 24年度ガソリン1,013ℓ、軽油2,053ℓ、計3,066ℓ 前年度比ガソリン△10.6%、軽油9.2%増。19年度比計1%増。 前年度比増減の理由として、ガソリンは、乗り合わせへの声がけと実行、頻繁に使う係への車両対応（プリウス）により減少。軽油は、渋沢地区通学送迎車代替運行への対応と、中型バスの東京送迎等長距離の運行の増のため。	真田地域振興課
3-2		消費電力の削減	地球温暖化防止の為に温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	庁舎の電力消費量削減	前年度実績の1.2%減	◎	平成24年度実績76,005Kwhであり、マイナス4.5%を達成できた。上半期に比べ下半期の削減率はマイナス3.3%と縮小したがこれは冬期に選挙があったことが影響したと考えられる。それでも指標の1.2%減はクリアできた。	武石地域振興課
3-2		市営・特目住宅の管理	環境負荷の低減（口座振替、入居者への環境啓発）	事務事業の効率化と環境啓発	全入居者通知の機会（年2回）に口座振替利用の奨励と環境啓発文を掲載	口座振替率 90.0%以上	◎	・口座振替率 92%（新規入居者の口座振替率100%）	武石市民生活課
3-2		太陽光発電・太陽熱利用施設設置補助	エネルギーの有効利用	新エネルギー・省エネルギーに関する補助や情報提供を進める	新エネルギー活用施設に対する補助金交付	目標 10件	◎	新エネルギー活用施設設置費補助金交付件数 8件（当初の予定は10件であったが、年度途中で予算が追加されたため16件の交付となった）	武石市民生活課
3-2		雨水貯留施設の普及啓発事務	水資源の保全	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進める	雨水貯留施設に対する補助の実施		△	補助申請数 0件	武石市民生活課
3-2		エコオフィスをうえだ	コピー用紙使用の削減等による環境配慮	「エコオフィスうえだ」に基づき、コピー用紙使用の削減を図る。		平成23年度に対し5%削減			武石市民生活課
3-2		エコオフィスをうえだ	可燃ごみの抑制による環境への配慮	「エコオフィスうえだ」に基づき、資源化率の向上を図る。		平成23年度に対し5%削減			武石市民生活課
3-2			ごみ、コピー用紙、光熱水量の削減等による環境配慮	ごみ、コピー用紙、光熱水量の削減		24年度 コピー枚数 22200枚 電気使用量 27900kwh 水道使用量 500㎡ 灯油使用量 21100ℓ	△	24年度 コピー枚数 24775枚 電気使用量 29785kwh 水道使用量 506㎡ 灯油使用量 3121ℓ	武石健康福祉課
3-2		事務事業全般	ゴミ、コピー用紙、光熱水量の削減等による環境配慮	ゴミ、コピー用紙、光熱水量の削減		24年度 コピー枚数 9315枚 電気使用量 29000kwh 水道使用量 495㎡ 灯油使用量 3309ℓ	○	24年度 コピー枚数 8,109枚 電気使用量 26,691kwh 水道使用量 506㎡ 灯油使用量 3,616ℓ	武石診療所
3-2			省エネに努めるエコ対策	就労センター職員及び通所者の環境に対する意識を高める。	施設内の環境整備に努め、節電・節水・燃料の削減に努める。	ガソリン 月平均300ℓ 軽油 月平均200ℓ 灯油 月平均400ℓ 電気 月平均2100kw	◎	24年度ガソリン トー*3,943ℓ 月平均328ℓ 軽油 トー*3,239ℓ 月平均269ℓ 灯油 トー*4,388ℓ 月平均365ℓ 電気 トー*26,416kw 月平均2,201kw ガソリン・軽油は受託事業が増えたことによる配送量の増加により増えた分です。 灯油、電気量は節約と節電により減	社会就労センター・武石事業所

環境基本計画基本目標			地域資源を活かし地球にやさしいまち						
環 境 保 全 項 目			地域資源を有効利用する						
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
3-3		雨水貯留施設設置補助事業	地域資源を有効利用する	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進める。	雨水貯留施設に対する補助金交付	補助金交付件数 12件	△	補助金交付件数 7件（目標の58.3％）	丸子市民生活課

環境基本計画基本目標			歴史や調和を大切にすまち						
環 境 保 全 項 目			調和のとれた美しい景観を保つ						
環境基本計画	№	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
4-3		犬猫の糞尿害対策	調和のとれた美しい景観を保つ	犬猫の糞尿害に対する対策を推進する。	犬猫の正しい飼育方法の周知 自治会による周知や看板設置の協力依頼 (随時)	苦情件数 10件以下			丸子市民生活課
4-3		上田市ポイ捨ての防止等に関する条例に基づく環境美化活動の推進	調和のとれた美しい景観を保つ	ポイ捨て等防止条例に基づき環境美化活動を推進する。	環境美化監視員によるパトロール	パトロール回数 4班 月3回 延べ144回 不法投棄ごみの量 9,200k g (H23の20%削減)	◎	パトロール回数 4班 月3回 延べ140回 不法投棄のごみの量 8,230kg (目標の 111.7%)	丸子市民生活課
4-3		ゴミゼロ運動の実施	調和のとれた美しい景観を保つ	地域の環境美化活動を推進する	ゴミゼロ運動の実施(県下一斉に年1回) 5／27(日) 丸子地域は自治会ごとに随時実施 ポイ捨て・不法投棄等の収集	参加人数 5,000人	◎	参加人数 5,575人 (達成率 111.5%)	丸子市民生活課
4-3		河川パトロール・清掃の実施	調和のとれた美しい景観を保つ	地域の環境美化活動を推進する	河川パトロール及び河川清掃(依田川・内村川・塩川沢・矢ノ沢) 年2回	河川パトロール・清掃実施(春・秋の年2回、参加6団体)	◎	(前期)6月4日 実施 参加 6団体 (後期)11月1日 実施 参加 6団体	丸子市民生活課
4-3		アレチウリ、ブタクサ駆除	自然保全・活用	真田地域全域でアレチウリ、ブタクサ駆除活動を推進します。	アレチウリ、ブタクサ駆除の実施	地域内の河川、公共道路の一斉駆除 私有地の所有者への駆除指導	○	平成24年度の駆除面積は50万平米である。	真田市民生活課
4-3		道路建設工事(歩道設置)	人にやさしいまちづくり	歩道設置を推進します	・歩道新設 L=300m (今年度の事業であるが菅平での施工となる為、歩道完成は来年度となる。) 繰越事業 歩道新設 L=370m 11月完成予定	・工事の完了実績による。 (今年度については、工事発注であり歩道完成は来年度となる為、数値での評価が出来ない)	○	・H23繰越事業は計画のとおり 歩道新設 L=370mを11月に完成した。 ・今年度事業については工事発注まで完了しているが、実際の歩道完成は繰越手続きを取り、平成25年度となる。 繰越事業2路線L=287m	真田建設課
4-3		犬猫の糞尿害対策	うるおいやゆとりのある都市空間の形成	犬猫の糞尿害等に対する対策を推進する	犬猫の正しい飼育方法の周知 オフトーク放送による周知 (随時)		◎	・チラシ、狂犬病予防注射時に配布 ・犬の糞の苦情 1件(オフトーク放送実施)	武石市民生活課
4-3		ポイ捨て条例に基づく美化活動の推進	調和のとれた美しい景観を保つ	ポイ捨て条例に基づき美化活動を推進する	環境美化監視員によるパトロール月2回 不法投棄防止チラシ等の配布		◎	・環境美化監視員によるパトロール実施 11・12月→月2回実施 1～3月→月1回	武石市民生活課

環境基本計画基本目標			環境を思いやる人があふれるまち						
環 境 保 全 項 目			環境にやさしい人を育む						
環境基本計画	№	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
5-1		隣保館事業の実施	環境にやさしい人をはぐむ	住民の環境に対する意識の啓発を図る。	①隣保館事業参加者に対する環境啓発 ②「花を楽しむ会」で館周辺の花壇の花植えと寄植えの実施 ③エコ料理教室の開催…省エネ等エコ生活への呼びかけをし、イベントを通じ市民への環境啓発を図る。	①隣保館事業の開催数 90 回 ②参加者数 20人 ③教室参加者数 10人	○	①隣保館事業開催時に意識啓発を図る。 ・パソコン講座ほか全82回開催（目標の91.1%） ・解放センターだより「彩り」に《チャレンジ25》のロゴ掲載（9回発行） ②6/8（金）実施 参加者21人。 ③8/22（水）実施 参加者13人。 ・エコ料理教室は、1.おいしいこと。 2.見た目もおいしそうなこと。 3.その上にエコをプラスする。 4.ガスや電気のエネルギーを大切に使う。 5.ゴミをできるだけ少なく。 6.水をむだなく使う。を学び実施できた。	丸子市民生活課
5-1		自治センターだより	環境にやさしい人、地域を育む	住民の環境に関する意識の啓発を図る。	真田地域自治センターだよりを活用した環境啓発活動	啓発記事件数 6件	◎	環境啓発活動として真田地域自治センターだよりを活用した啓発記事件数 3件（11月、1月、3月）	丸子図書館
5-1		有線放送	環境にやさしい人、地域を育む	住民の環境に関する意識の啓発を図る。	有線放送を有効利用して環境啓発活動	環境（省エネ等）に関する放送。2 回	◎	7月11、12日に省エネアドバイザーによる「節電生活のすすめ」と題し、夏に向けての省エネ対策について放送を行った。	真田地域振興課
5-1		ごみ減量化事業	イベント開催時及び公園等利用時に発生するごみの減量	イベント参加者等と協力してごみの減量を図り、また公園等利用者への環境啓発活動を行います。	イベント時及び菅平高原スポーツランド、公園等へ環境啓発看板等の設置	イベント終了時のごみの残量	○	菅平高原スポーツランドでは「ごみの持ち帰り」看板を設置し、ごみゼロに向けた啓発の継続を図った。	真田地域振興課
5-1		各種講座	地域における環境保全活動の推進	各種主催イベントの際に車相乗り参加の呼びかけ	公民館学級開催、各種大会開催の際の保全活動	各種主催イベントにおける、参加者募集時にチラシ、有線放送を利用し、参加の際の車相乗りの呼びかけ	○	ふれあい夢コンサート、真田総合文化祭開催時、周知チラシにおいて相乗りの呼びかけ。 年間を通じて、主要事業においては相乗りの呼びかけを実施できた。	真田産業観光課
5-1		環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	啓発活動を通じて環境保全の理解を深める。	・6月の環境月間にあわせ1階、2階コミュニティスペースに環境関係の本を展示し、市民に啓発する。 ・12月の図書館祭りでは、本のリサイクル市を行い、本の有効利用を図る。		◎	12月に開催した本のリサイクル市は、市民に呼びかけ858点のリサイクル本のうち、502点を持ち帰っていただいた。	真田地域教育事務所

環境基本計画基本目標			環境を思いやる人があふれるまち						
環 境 保 全 項 目			環境にやさしい地域を育む						
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
5-2		わがまち魅力アップ応援事業	地域全体の環境保全に対する意識の高揚	上田市の環境目標「自然・生き物・人が共生するまち」を実現するため、自治会や市民団体が行う環境保全活動等を支援・協力します。	わがまち魅力アップ応援事業の実施	実施団体目標 9団体	◎	・平成24年度 8団体が実施 ・事業内容を確認するとともに、事業実施の際には、報道への周知等の支援・協力を実施した。	丸子地域振興課
5-2		武石地域全域公園化構想の実践と実現に向けた取り組みの実施	環境の保全	自然環境と一体となった地域性豊かな環境整備	①公園化構想実践事業とわがまち魅力アップ応援事業を活用した地域環境整備の推進	①公園化構想実践事業の進捗 ②わがまち魅力アップ応援事業の進捗	○	・1自治会で取下げはあったが、8自治会で事業実績報告があり、滞りなく事業が完了した。 ・6自治会ヘツツジ、ハナモモなど548本支給した。 ・樹木破砕機の貸出は、9自治会延12回の活用があった。	武石地域振興課
5-2		青少年健全育成事業	自然体験学習を通じて子どもの環境保護の感性を育む	自然に親しむ事業を実施する。	青少年の育成事業	事業の実施回数と参加者数	○	・5月 参加者少なく中止 ・7月 夏休み自然ふれあい体験 参加者100名 ・9月 参加者16名 ・10月 参加者少なく中止 ・12月 参加者14名	武石地域教育事務所

環境基本計画基本目標			環境を思いやる人があふれるまち						
環 境 保 全 項 目			環境活動を発信する						
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
5-3		丸子地域自治センターだよりの発行	地域全体の環境保全に対する意識の高揚	上田市の環境目標「環境を思いやる人があふれるまち」を実現するため、自治センターだよりに環境保全に関する情報を掲載し啓発を行います。	丸子地域自治センターだよりの発行 ※環境保全に関する情報を掲載する。	各号に環境情報を掲載（計6回）	◎	・第27号～第32号まで予定どおり発行し、啓発を実施	丸子地域振興課

独自目標									
環境基本計画	No	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期の状況	上半期の進捗状況	担当課
独		特定健診・特定保健指導受診率の向上	安全で健康に暮らせるまちづくり	特定健診・特定保健指導の受診率を増加させ、住民の健康維持を図ることで、産業廃棄物等（医療廃棄物）の削減につなげる。	1 特定健診受診率と保健指導実施率の向上	1 特定健診受診率 65% 2 特定保健指導実施率 48%	○	(平成25年4月3日現在) 特定健診対象者 40人 特定健診受診者 30人(受診率 75.0%) 10月までに受診した者 23人(受診率 57.5%) 特定保健指導対象者 4人 指導利用者 3人 修了者 2人(実施率 50%) 10月までに受診率を目標値にすることはできなかったが、目標値は達成された。	真田健康福祉課
独		道路整備事業	観光アクセス道路の環境改善	市道小沢根線の整備促進	・合併特例債事業 舗装改良・災害防除 L=400mの早期発注 ・落石箇所 の災害防除工法検討	・施工実績による	◎	・舗装改良工事 12/26 ・災害防除工事 2/18 2事業 計画どおり完成。	武石建設課